

令和5年度 第5回 篠原小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年2月2日（金） 10時00分から11時50分まで
- 2 開催場所 篠原小学校 会議室
- 3 出席委員 鈴木 直樹、森下 晃司、小楠 倫嗣、辻村 栄子、
石津 正貴、野寄 裕義、佐野 みなみ
- 4 欠席委員 脇本 和義、横井 詠子
- 5 学 校 結城 知則（校長）、井上 純子（教頭）、中村 敦（主幹教諭）、
井内 早穂里（CS担当教職員）、中島 和美（CSディレクター）
- 6 教育委員会 牧野 知子（浜松市教育委員会教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 中島 和美
- 9 議長の選出

司会から委員に意見を求めたところ、第1回会議において今年度は会長の鈴木直樹委員が議長を務めると決定していることから、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 学校評価の結果を踏まえた今後の改善策等について
- (2) 来年度の学校運営基本方針について
- (3) 今年度の学校運営協議会の自己評価について
- (4) 令和6年度ぐんぐんスポーツ大会について

11 会議記録

司会の井上から、委員総数9人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校評価の結果を踏まえた今後の改善策等について

主幹の中村から別紙資料に基づき学校評価の結果について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・挨拶の評価項目について、保護者や教職員の評価が低いので驚いている。（石津委員）
- ・挨拶運動に参加していると、以前より子供から大きな声で挨拶してくれるようになったと感じる。（辻村委員）
- ・子供が自ら「進んで」挨拶しているか、と考えると評価が下がるのではないか。（佐野委員）
- ・初対面の人に挨拶するのは、防犯の面でも難しいので、地域の方や保護者など顔見知りの方に挨拶できればいいのではないか。（直樹委員）
- ・生徒指導の項目について、学校で取り組んでいる「いじめの未然防止・早期発見・早期対応」の具体的取り組みについて、もっと積極的に発信してもいいのでは。（直樹委員）
- ・情報発信の点で、学校の取り組み（例えばアウトメディアチャレンジ）に対する、家庭での取り組みの様子や効果があったことなどをフィードバックして、それらを学校からブログなどで情報発信してくれると、他の保護者の参考にもなる。（石津委員）

(2) 来年度の学校運営基本方針について

校長より、来年度の学校運営基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・学校教育目標のサブタイトルを変更したことで、より具体的になり、子供たちにとっても分かりやすくて良い。(佐野委員)
- ・重点的な活動項目で「粘り強く取り組むぐんぐんカードの活用」とあるが、「粘り強く」とは、具体的にはどのように活用するのか。(石津委員)
→具体的にはこれから決めていく。今年度も縄跳びやマラソンで活用したが、最初だけ頑張る傾向にあるので、最初のみで終わらないよう、目標を達成しても継続して取り組める方法を考えていきたい。(校長)
- ・学校から情報を発信するにあたり、一方的に情報を発信するだけでなく双方向でのつながりを考え、子供や保護者、地域の方が何を知りたいのかを具体的に意識して発信すればもっと関心を持ってもらえるのではないか。(直樹委員)
- ・目指す子供像の「にこにこ」の「自他のよさを大切にする子」の項目について、自分だけでなく「他者」が入っているのが良い。「短所も見方を変えると長所になる」という考えを自分だけでなく友達に対しても持てるよう子供に伝えていきたい。(辻村委員)
- ・今の時代に合った教育目標や教育方針がよく考えられている。(小楠委員)
- ・地域とのつながりという点で、多くのボランティアの方が学校に来てくれているが、逆に子供が地域の活動に参加し、地域の人との接点を持ってないかと感じた。(森下委員)
協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 今年度の学校運営協議会の自己評価について

- ・学校運営の基本方針について、学校からの説明にもとづき十分に熟議できている。(直樹委員)
- ・先生方と直接交流する機会があり、学校支援活動についての理解が深まった。(佐野委員)
- ・学校運営協議会のホームページで、学校支援ボランティアを募集したり活動の様子を掲載したり情報発信できた。(石津委員)

(4) 令和6年度ぐんぐんスポーツ大会について

校長より、来年度のぐんぐんスポーツ大会の開催方法（全校開催か、学年団開催か）について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・今年度の学年団開催の様子を見ると、子供はのびのび競技できて、保護者も観覧しやすくて良い。協議を行っていない学年は授業をしていて集中できるのか心配だが、音楽を小さくしたり万国旗もなくしたりと配慮されていたので良いと思う。(辻村委員)
- ・土日ではなく平日開催だと子供たちの生活リズムが崩れなくて良い。(森下委員)
- ・上級生と下級生と組んで活動することで、それぞれの学年なりに、下級生をリードする気持ちが生まれて良い。(石津委員)
- ・篠原小は児童数が多いので、全校開催でなく2学年開催でいい。(佐野委員)
→学校運営協議会での意見や、子供の意見を参考にし、実施方法を決めていく。(校長)
協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

- ・教頭より夢育やらまいかCS加算分の報告があった。
- ・教頭より、運営協議会委員の任期について説明があった。
- ・150周年記念事業の進捗状況報告があった。(校長、教頭、中村、井内より)
- ・司会より来年度第1回会議は、令和6年5月8(水)午前10時00分より会議室で開催する旨の説明があった。(第2回以降7/3(水)、12/5(木)、2/5(水)の予定)